

# 応募事例

【工法の種類】 アイワン工法  
部分開口 構造用合板工法「真壁上下あき」

【応募者名】  
日本住宅耐震補強（株）

■ 名古屋市瑞穂区 M邸  
建築年：昭和48年  
在来軸組工法 2階建  
延床面積：122.14㎡

改修前評価

	X方向	Y方向
2階	0.82	1.08
1階	0.40	0.66

改修後評価

	X方向	Y方向
2階	0.77	1.01
1階	0.71	0.81

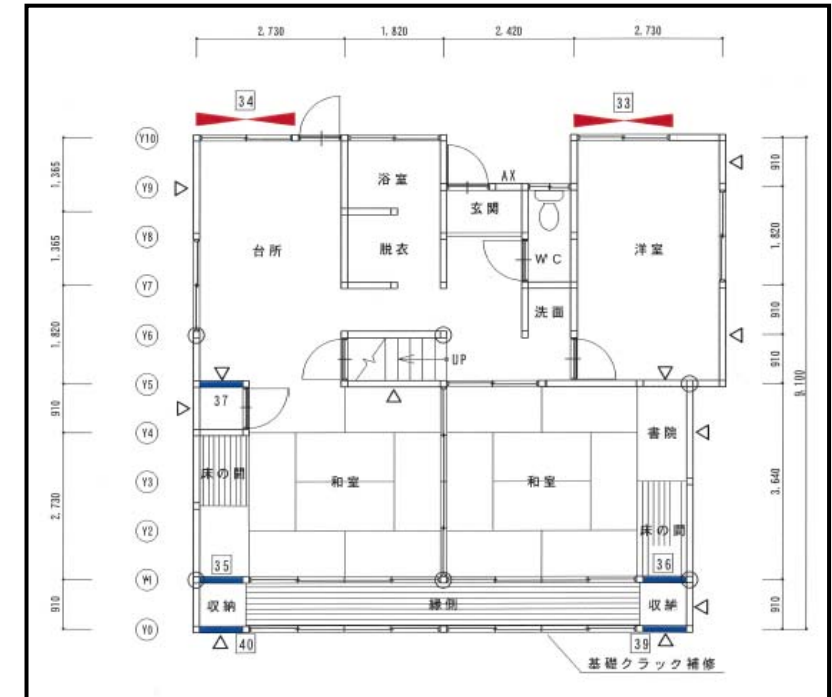
工事費：66万円  
工事期間：5日間



部分開口 構造用合板工法「真壁上下あき」を  
押し入れ内の補強で利用



下屋天井を構造用合板で補強



この建物は、10年後には建て替えをしたいので、それまでの間だけ生命を守る補強をしたいという居住者のご相談を受けて段階的改修で補強を行ないました。X方向（東西）のみの補強でコストを抑えるために押し入れを活用しています。押し入れでは当初、天井・床を解体しての補強を予定していましたが、着工してみると天井を壊すと下屋の屋根まで影響が及び恐れがあったため、構造用合板の上下あき工法で天井を残すことを検討しました。しかし押し入れのような入隅では利用できない、また土塗り壁を解体する必要があるため、評価がでたばかりの「真壁上下あき」工法に急遽変更しています。様々な工法の情報をうまく活用すれば、耐震改修のように想定外の事態が発生する事が多い現場でも追加工事等による負担の発生を防ぐことができるかと痛感した事例です。また下屋部分の壁補強がより効果を発揮できるよう天井面にも構造用合板を張り水平剛性を高めるようにしています。



アイワン工法による外部補強